

南無阿彌陀佛 念 取 不 捨 念 佛 衆 生 寫 經 寫 佛 的 十 方 世 界 光 明 徧 照

ススス

四 誓 偈

我建超世願	必至無上道	斯願不滿足
誓不成正覺	我於無量劫	不為大施主
普濟諸貧苦	誓不成正覺	我至成佛道
名聲超十方	究竟靡所聞	誓不成正覺
離欲深正念	淨慧修梵行	志求無上道
為諸天人師	神力演大光	普照無際土
消除三垢冥	廣濟衆厄難	開彼智慧眼
滅此昏盲闇	閉塞諸惡道	通達善趣門
功祚成滿足	威曜朗十方	日月戰重暉
天光穩不現	為衆開法藏	廣施功德寶
常於大衆中	說法獅子吼	供養一切佛
具足衆德本	願慧悉成滿	得為三界雄
如佛無礙智	通達靡不照	願我功慧力
等此最勝尊	斯願若剋果	大千應感動
虛空諸天人	當雨珍妙華	

為



年 月 日 願 主

淨土宗 弘願院

写経・写仏とは

写経とは、「お経」を「写しとる」行のことです。同様に写仏とは「仏画」を「写しとる」ことをいいます。「お経」とは仏さまが私たちにお伝えになられた真実のことば、真実の教えのことです。

お経を書写することは、仏さまの正しい教えを心にしっかりと受け止め、心身を整える尊い行のひとつとされています。かつて印刷技術が発達していなかった時代より今日に至るまで、お経を写すことによって仏さまの教えをより多くの人々に知らせ、その生活に光を与え、自他ともに利益ある行とされてきました。

現代においては印刷技術も発展し、物質的に豊かではあるものの、情報と時間に追われている私たちが写経を実践することは日常の生活をもう一度見つめ直し、心定まった信仰生活を見出すことができる良い機会となるでしょう。



弘願院は浄土宗ですので浄土宗で普段からおとなえするお経や『般若心経』のように様々な宗派で知られているお経など、5分で終わるものから1時間ほどかけてじっくり書き写すものまで様々なお経を準備しました。

お寺での写経会も実施予定ですので、是非ともお越しく下さい。詳細はお寺のHP、山門前の掲示板、SNS等で周知いたします。

他の種類(もっと文字数の多いもの)もありますので気軽にお寺までお尋ねください。

写経・写仏の効果

- ・リラックス効果がある(一説には坐禅をすることと同じような効果があるとか…)
- ・集中力・忍耐力がつく。(お子さん、お孫さんにも是非オススメです!!)
- ・脳の活性化につながる。(普段使わない言葉や難しい漢字も沢山あります♪)
- ・字が上手になる。(最近字を書くことが減ってきてませんか?) などなど

新型コロナウイルスの影響で心が慌ただしい日々であります。仏さまの教えを通じて心を落ち着かせて、自分と向き合う時間を大切にしましょう。

写経の方法



- 心を落ち着かせ、まず合掌してお十念を称えます。
- 心を静めて一字一字を読みながら丁寧に書きなぞってください。
- 「為」の下には御祈願、追善供養霊名など心を込めて書き入れてください。(あらかじめ薄い字が印字されているものは上からなぞってください。)

【記入例】

- 家先祖代々追善菩提 (戒名) 追善菩提
- 世界平和・国家安穩・家運隆盛・病氣平癒
- 心身健全・家内安全・学業成就 など

- 年月日を書き、願主のところへ氏名を書いてください。
 - 浄書が終わりでしたら、合掌してお念仏を称えてください。
 - 筆・筆ペン・ボールペン・鉛筆どれを使用しても構いません。
 - 仏さまの仏画には色鉛筆等で色をつけてみてください。
- 配色は自由です。

書写したお経は？

- ①弘願院までお持ちいただく。
- ②弘願院に郵送いただく。

納経された写経は弘願院での日々のおつとめや写経会で納経法要をさせていただき、納経いたします。

郵送の場合

〒921-8031
石川県金沢市野町
1-3-87
弘願院 まで

◆納経の方法◆

- ① お持ちいただける方 : 500 円をお納めください。
- ② 郵送にてお送りの方 : 500 円分の定額小為替、送料の 84 円切手を納経いただく写経に同封して郵送をお願いします。

※定額小為替とは郵便局で購入する現金化の可能な小切手のことです。

※返信用封筒は不要です。

◆納経いただいた方には①御朱印(書き置きのみ)②ひとくち法話を授与いたします。「ひとくち法話」とは身近にある仏教用語等を通じた文書伝道です。御朱印の中央の文字と共に定期的に内容を変更いたします。裏面には菊田水月氏より提供いただいた仏画を掲載しています。



弘願院からのお知らせ

◆弘願院は檀信徒以外の方も自由にお参りいただけます。

今までお寺に足を運んだことが無い方もこれを機会に是非ともお越しください。

◆お寺での写経会を9月より始めます。詳細が決まりましたらご案内いたします。

◆弘願院では「いしかわフードバンクネット」様を通じて食品の支援を必要としている人々や支援活動を行っている団体に食品を届けます。

ご家庭で余っている食品がありましたら弘願院へお持ちください。

(未開封で賞味期限1か月半以上残した常温食品。)



国連が提唱している2030年までに達成すべき目標「SDGs」の上記6項目にお寺として取り組みます。寺院が中心となり寺院に関わる人と人を数珠のように結ぶ懸け橋の役目を担い、社会貢献の実現、地域の課題や問題に直接的・間接的に取り組んでいく一つのきっかけといたします。

例えば、御朱印の和紙も石川県の伝統工芸品である「二俣和紙」を一部使用し、石川県の工芸品のPRも納経や参詣いただく方へ届きます。

参詣者や納経者からの浄財の一部をフードバンクへ食品を提供するために使用します。

個人と個人の間をお寺がつなぐことで、人と人の「縁」をつなぎ直接的・間接的な支援を行う仕組みを作り、弘願院に関わる方々と一緒にフードロスや貧困問題に取り組んでいければと考えています。

ご協力よろしくお願ひいたします。

